


建築工事特記仕様書

A. 工事名称		高槻市立第九中学校給水設備改修工事	
B. 建築工事仕様		1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下「標準仕様書」という）及び「公共建築改修工事標準仕様書」（以下「改修標準仕様書」という）による。 2) 電気設備改修工事・機械設備改修工事は、それぞれの工事仕様書を適用する。	
C. 一般共通事項			
1. 設計図書優先順位		①現場補足説明書 ②特記仕様書 ③設計図 ④「標準仕様書」	
2. 施工計画書の提出		工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。	
3. 建築材料等		建築材料の製造所、製品及び施工業者は、特記されたもの又は同等以上とする。ただし、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受けること。	
4. 火災保険等の加入 【機械設備工事の特記仕様書による。】		工事施工に伴い下記の保険等に参加すること。 ①火災保険 ②建設工事保険 ③労災保険 ④賠償責任保険 ⑤建設業退職金共済制度掛金	
5. 施工条件		施工日・施工時間・工事車両出入口・駐車場・資材置場等は、施設との協議による。	
6. 施工中の安全確保		施設使用中の工事なので工事車両の出入り、資材保管、仮設物等安全面については十分注意し、事故のないように努めること。	
7. 施工図		設計書は、そのまま施工するのに不十分であるので工事実施に際しては施工図（必要に応じて詳細図）を作成する。施工図等の著作権にかかわる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。	
8. 適用基準		官公署その他への届け手続き等、関係官公署その他の関係機関への必要な届出及び申請書類を作成すること。	
9. 完成図等 【機械設備工事の特記仕様書による。】		黒表紙 A-4 版（金文字） 1 部 電子媒体（JWW-GAD 及び PDF 形式） C-D-R 1 部 ※ウィルスチェックを行うこと。 ※ファイル名：図面番号_図面名称_工事名称_年度（西暦）.pdf ※英数字とアンダーバーは半角とする。	
D. 仮設工事 【機械設備工事の特記仕様書による。】			
1. 工事用水		構内既存の施設 利用できない ①利用できる（①有償 無償） ※利用前に分岐子メーターを設置し、利用分を区分可能とすること。 利用数量が分かるように、着工前・完成後に分岐子メーターの写真を撮影の上提出すること。	
2. 工事用電力		構内既存の施設 ①利用できない 利用できる（①有償 無償）	
3. 交通誘導員		常駐人員スポット	
E. 環境配慮			
1. 建設機械の使用		工事に使用する建設機械は、環境負荷の少ない低騒音、低振動、排ガス対策型の建設機械を使用すること。（施工計画書に明記及び工程写真に添付）	
2. リサイクル材の使用		外構工事等で使用する砕石・アスファルトは、再生材とすること。	
3. コンクリート型枠		1) 合板せき板使用の場合は、原則として複合合板を使用すること。 2) 合理的使用により反復使用回数の増加に努めること。	
4. 分別解体		建築物等の全部又は一部を解体するときは、廃棄物の種類ごとに分別しつつ施工すること。	
5. 廃棄物の再資源化 【機械設備工事の特記仕様書による。】		1) 現場発生材の再利用、再資源化に努めること。 2) コンクリート塊・アスファルト塊・発生木材については、再資源化施設に搬入すること。	
6. 廃棄物の適正処理 【機械設備工事の特記仕様書による。】		1) 受注者は建設廃棄物を自らの責任において適正に処理すること。 2) 運搬は産業廃棄物収集運搬業者等と、処分は産業廃棄物処分業者等それぞれ個別に直接契約すること。 3) 建設廃棄物の搬出に当たっては、産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付し、適正に管理すること。 4) 残土は監督職員の指示する場所へ処分すること。	
7. 材料の選定		1) 仕上材はホルムアルデヒドの放散量の等級が JIS で定める F☆☆☆☆ とする。 2) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤はホルマリン不検出のもので、水性形のものとし、接着剤に含まれる可塑剤は難揮発性とする。	
8. 化学物質の検査		内部改修を行った際には、指示した室のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 （検査対象室） （検査項目） ①ホルムアルデヒド (0.08ppm) ②トレン (0.07ppm) ③キシレン (0.05ppm) ④エチルベンゼン (0.08ppm) ⑤スチレン (0.05ppm) ⑥パラジクロロベンゼン (0.04ppm)	
9. 撤去工事におけるアスベスト処理		当該施設においては「非飛散性アスベスト内装材」が含まれている可能性があり、撤去・処分に当たっては監督職員と協議の上、「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理すること。 ※令和3年4月1日施行された改正大気汚染防止法に基づき適正に対応すること。	
10. ノンアスベスト材料の使用		工事で使用する建築資材についてはアスベスト含有材料を使用せず、ノンアスベスト材料を使用すること。	
F. その他の留意事項			
1. コンクリート・モルタル・塗料が付着した施工用具については、周辺環境に影響を与えないように適切に処理を行うこと。			
2. 塗装を行う場合は、現状の天気及び天気予報を確認した上で、降水の可能性がある場合は施工をとりやめること。 また、夜間に気象急変の可能性があるので、日中に乾ききる時間までに塗装作業を完了し乾燥を確認すること。			
3. 防水工事を行う場合は、ドレンを完全に塞ぎ外部に流出しない対策を行った後に施工すること。			
4. 雨水側溝や下水管に建築資材が流れ込みそうな場所では、流出防止のため土壌によるせき止めやノッチタンクへのポンプアップ等の措置を講じた上で施工すること。			
5. 建築資材を取り扱う際には、十分注意するとともに、施工中・施工後といった状況に応じ、正しい認識のもとに取り扱うよう関係作業者に指導を行うこと。			
6. 現場代理人は、作業中・作業後の安全・環境に対する点検を必ず行うこと。			
7. 予期せぬ事故等により、流出した場合は、拡散を防止する処置等を行うとともに、速やかに監督職員及び、関係部局（下水河川事業課、環境政策課など）へ報告を行うこと。			



Name

高槻市立第九中学校給水設備改修工事

Class

建築工事特記仕様書

Date

Scale

NS

Checked by

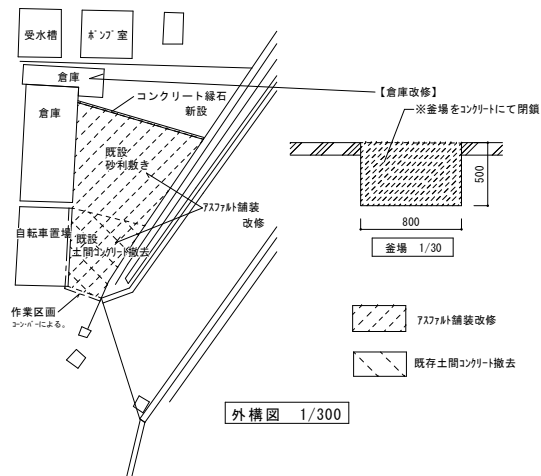
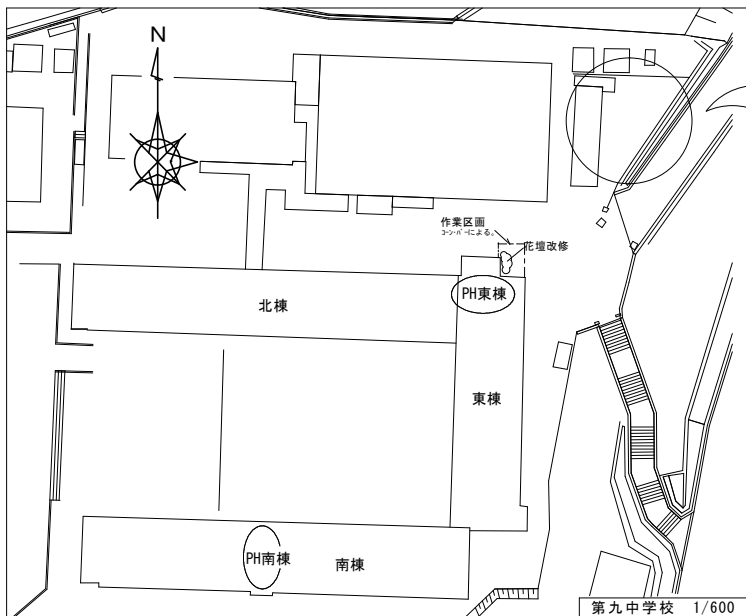
b. s. l. s.

Sheet No.

A-1

2

TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE



外構改修工事

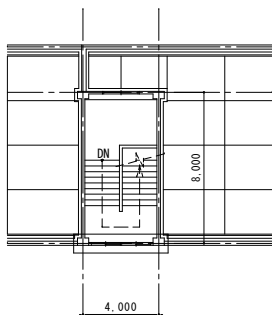
【撤去】	【改修】
駐輪場前土間撤去 t=150 ハンドブレーカー 上記カット切り	7ｽﾌﾟﾙ舗装 A= 5-15 再生密粒 再生ｸﾞﾗﾝｳﾞｪﾝ ｺﾝｸﾘｰﾄ緑石 120×120×600
砂利敷き撤去 t=200 機械 4t集積・積込共	
【花壇】 ※機械設備の指示による。 配管敷設に伴う花壇一時撤去復旧(玄関付近) 植栽等の一時撤去復旧共、岩等処分共	
【ポンプ室付近】 ※機械設備の指示による。 基礎部分樹木等の撤去 根切り、切断箇所の処置、処分等共	

その他改修工事

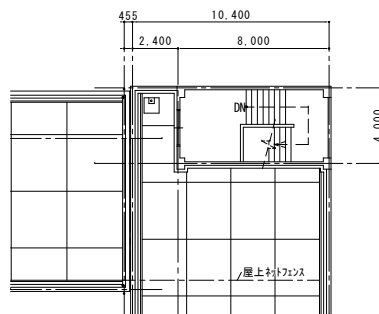
【内部改修】 ※電気設備図参照 天井点検口(廊下)新設 ｱﾙﾐ製 450角開口補強(電気設備用) ｶﾞｰﾄﾞ切り込み・仕上げ張り共
【倉庫改修】 倉庫ｺﾝｸﾘｰﾄ閉鎖 800×800×500 無筋
【内部窓改修】 ｱﾙﾐﾝ 杉 t=3

屋上改修工事 (PH南棟、PH東棟)

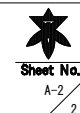
【改修内容】 高圧洗浄・下地清掃 設備配管架台撤去部等 樹脂モルタル補修 ﾙﾝﾁﾝ塗膜防水 平場 X-2仕様 高反射(設備基礎含む) ﾙﾝﾁﾝ塗膜防水 立上り X-2仕様 高反射 改修用ﾄﾞﾚﾅｰ型80φ ﾂﾚﾝ廻り撤去 屋上ﾜｯﾄﾍﾞﾝｽ配管開口補強 H=1800 W=2000 φ3.2×40目 ※配管用開口200×200 既存ﾀﾗｯﾌﾟ撤去(PH南棟) 撤去部補修含む 新設ﾀﾗｯﾌﾟ設置(PH南棟) 杉田エース PSｽﾃｯﾌﾟ同等以上 (2500×450) ｸﾞﾗｽﾌﾞﾙｯｸ



PH南棟平面詳細図 1/200



PH東棟平面詳細図 1/200



Name 高槻市立第九中学校給水設備改修工事

Class 建築改修図

Date

Scale 1/600、1/300、1/200

Checked by b. s. l. s.

TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE